

2010年 岩手県消費者大会アンケート まとめ

2010年10月27日(水)サンビル7階ホールにて開催

■アンケート回収数 午前:50枚 午後:80枚 合計130枚

回答者の年代 20代(2名) 30代(11名) 40代(28名) 50代(28名) 60代以上(48名※70代1名)

回答者の性別 女性 : 67名 男性 : 10名

■項目別回答の集約結果(行末の数字は回答者数・無いものは単数回答)

1. 全体会基調講演について(自由記述より、順不同)

- ・ わかりやすく、勉強になった講演だった。 67名
- ・ ユーモアがあり、おもしろく、楽しく聞くことができ、参加してよかった。 20名
- ・ 富裕層・大企業から税金を取るしくみをお願いしたい。 8名
- ・ 垂直型所得再分配(応能負担・税はあるところから取る)がよく理解できた。 6名
- ・ 消費税増税反対だけでは解決にならない。どこからお金を持ってくるのかをしっかりと考えなければいけないと思いました。 5名
- ・ 消費税のほかに別の形で税金を取る方法を提案されていてわかりやすかった。 5名
- ・ 消費税はやむを得ないのではと思い始めていたが、考えを改めることとなった。消費税のことだけでなく、日本の今のしくみについてもわかるところもあり、聞いてよかった。 4名
- ・ 消費税増税はダメというだけでなく、どのようにすればいいのか(考えればいいのか)がわかりました。 4名
- ・ みんなの党のサギ的な体質もわかった。 4名
- ・ 自分自身がかっと学習し、かしこい生活者にならなければいけないと改めて思いました。 3名
- ・ 貧困と格差の問題がよくわかった。 3名
- ・ 消費税増税ではない解決策を強く望みます。 2名
- ・ 今まで反対としか考えていなかったのですが、色々な方法で安心して暮らせる国づくりを考えてほしいと政治に対して強く思いました。 2名
- ・ 保育の話、子ども園になる話には驚きました。少子化、子どもを育てやすい社会にとこんなにみんなが訴えているのに…。逆行していると思います。 2名
- ・ 菅政権の新成長戦略の本質、法人税減税のごまかしも明解でした。 2名
- ・ 少し難しかった。
- ・ 消費税増税はダメ!問題点がよく理解できた。
- ・ 税のカラクリがよくわかり、これからの運動に役立ちそうです。弱いもの同士が足を引っ張りあうような社会は間違っています。
- ・ 税制の問題はさまざまな問題とからんでいるので、これを機会に社会のほかの問題にも目を向けていきたいと思えます。
- ・ 税が今後どのように徴収され分配されるのか、制度が変化していることを様々な面で知る機会を得たい。
- ・ 報道等では聞いて(見て)いるものの、理解していませんでした。増税によっておこる色々な方面への影響が衝撃的でした。どうか生活が安定してほしい。
- ・ テレビではいろいろな情報があるのであちこちで聞きかじりするものの何が正しいかを判断する根拠がないので今回のような講演会でしっかり聞くことが大事だと思いました。
- ・ 「税はこう決まりました。払ってください」といわれる前に、私たち国民も考え話し合わなければと思います。
- ・ もっと運動を強め、広い人々にわかってもらい、力と声を大きくしないと、日本の将来は大変なことになると実感できました。
- ・ 誰のための政策なのか、菅首相が守るべき国民とは誰のことなのでしょう。

- ・ 富裕層の暮らしぶりがマスコミもあまり取り上げないので国民には知らされていません。日産のゴーン社長の報酬や役員への報酬の大きさなどにも触れていただくとよりよかったです。
- ・ 富裕層ビジネスなど色々な話が聞けてよかった。 3名
- ・ 富裕層から取ろうとすると…という話も聞けが、“ぜいたく品”により高い税率をかけることで横型税率でも少しは富裕層からより多く税を取る形式になると思うのでその方向で消費者運動ができればと思う。
- ・ 富裕者層、大企業の増税でどれほどの税収になるのかなと思いました。それと大企業が海外進出することで、税収に問題がないことはわかりましたが、労働者の働く場所が減ることとの関わりはどうなるのかなと思いました。
- ・ 貧困層の団結と大企業の実態、そしてお金持ちの実態を暴露していくことが大事。庶民の怒りが出るような話でもよかった。
- ・ 消費税増税でますます格差が広がるということがよくわかった。
- ・ 若年層の貧困について理解が深まりました。私たちの時代は全体が貧乏な時代だったので「貧しくても心は豊かに」が通用した時代でしたが、今は結婚できない、子育てにお金がかかると若い人の収入格差が問題となり、政治の力でそのことに取り組んでほしいと切に願っています。
- ・ 松井秀喜の年収とワーキングプアの年収を比べると科学的に正しくない。金持ちからの増税か消費税の増税かという単純な問題の設定では解決できない複雑さがあるのではないか？経済学的に幼稚ではなかろうか。
- ・ 生活保護をもらっている人と派遣社員と年収はイコールということを知って驚いた。
- ・ 生活保護を受けている人の多さにびっくりした。
- ・ 外国との競争力が法人税の増税によって損なわれるという話があります。この点はどうなのか気になった。
- ・ 国は少子化がすすんでいるからもっと子どもを増やせ、子どもは国の宝と言っておきながら、何か起きれば子育てをだしに使う…許せないことです。
- ・ 子どもの学費にお金がかかり、どこでどのようにきりつめた方がいいのか、これからの子どもたちのためにお金を使うことができればいいのと思う。私学に通っている子どもたちへも公立校へ通う子どもたちと同様に授業料無償化ができるようになればありがたい。同じ勉強をしているのには変わらないと思う。
- ・ とにかく農業がもっと楽になれば日本はよくなると思うので、農業が前向きになれるような政治を望んでいます。
- ・ 普段あまり税金のことなど考えていなかったのですが、今日のお話を聞いてもっと政治にも興味を持って選挙にも参加していかなければいけないなと思いました。子どもたちの将来のことを考えるととても不安になりました。

20代

2. 今後学習や運動をしたいテーマ(自由記述より、順不同)

- ・ 介護保険制度 4名
- ・ (公平・公正な)税制度について 3名 ・消費税 3名 ・子育て支援のこと、子育て 3名
- ・ 医療・医療制度改悪反対の学習・地域医療を守る運動 3名
- ・ 年金制度 2名 ・子ども手当について 2名 ・食料自給率・地産地消・農業のこと 2名
- ・ 化学物質、化学物質や添加物が人体に与える影響について 2名
- ・ 各政党の政策について ・社会保障について ・国保税 ・食料問題 ・TPP問題 ・平和 ・憲法問題
- ・ フードマイレージについて ・日本のエネルギー政策の方向性 ・だまされないための学習 ・老後問題
- ・ 学校給食と食育の問題 ・JA商品のアピール ・農業と環境をテーマにした夢のある話
- ・ 国の税制政策、その他の政策の問題点について、明確に説明が聞け、学習できる企画があれば…と思う。
- ・ 子どもの教育、ゆとり教育が廃止になるので子どもへの影響は？
- ・ 学力テストの問題～秋田ではこのテストの対策が授業をつぶして行われているそう。
- ・ 今日における日本のジェンダーバランスの現状。

- ・ 地域を活性化するための消費者としての心構え(収入が増えないのに難しいかもしれないが)
- ・ 今の貧困、雇用問題をどうしたら解決していけるか、みんなで考えたい。

3. 分科会の感想

第1分科会:食料・農業

- ・ 小原先生の話はわかりやすくユーモアもあり、共感できた。よかった。 15名
- ・ 小原先生、消費者、生産者といろんな話ができよかった。 6名
- ・ 生産者の方々のお話大変よかった。 2名
- ・ 参考になった。また機会があったら参加したい。 2名
- ・ 生産者の笹田さんの今の農業のきびしさ、大変さも実感した。
- ・ 消費者の意見が聞けてよかった。
- ・ 食料に対する(消費者の)現状と問題点の認識を楽しみながら新たにできました。
- ・ 自家用の野菜は作っているが、知らないこともたくさんあり、これから食事のバランスの参考にしたい。
- ・ 農家として今産直で売る立場からもっと勉強したいと思った。
- ・ 野菜の虫について消費者はあまり気にせずにいるけれど、農薬を使うよりはよいという声を聞いて生産者として意欲ができました。
- ・ 地産地消をめざし、自給率を高くしようということでした。岩手はすごくいいところ。全面にアピールをしましょう。今の農業は抜本的に改革しなくてはならない。
- ・ 健康のためにも農家のためにも地産品を活用してほしいです。
- ・ 生産者として参加したが、いかに消費者がわかままか、育てる苦勞がわかっていないと思いました。生産者として付加価値をいかにつけて売るかを考えていきたいと思った。
- ・ 生産者のご苦勞を聞くことができ、本当に大変だと思った。消費者の1人として大切に食したいと思います。
- ・ 生産者は誇りを持って作っていることが伝わってきた。
- ・ 消費者のわかままさ、どれくらい恵まれている状況がよくわかりました。かしこい消費者でいたい。
- ・ 農家の大変さを実感し感謝を伝えたい。
- ・ 米の消費拡大なんとかしたいですね。
- ・ 食事をするとときに会話のきっかけができ、家族での食事が興味のわくものにしたいと思います。
- ・ 食事は大切です。作る側としておいしいといってくれなくても全部食べてくれるとうれしい。先生の話聞いて我が家も孤食があるかもと思いました。
- ・ 講演も司会もとてもよかった。

第2分科会:くらし・格差

- ・ 子どもの現実に焦点をあてることの大切さを知りました。 2名
- ・ いろいろな話を聞いて、子どもに心のゆとりがないからではないかと思った。土曜日をまた学校に行けるように、心の貧困が私たちの学生時代と全く違うような気がする。子どものこと、心のケアはできると思った。
- ・ 子どもの貧困ということがどういうことなのか武田先生の資料とお話によってわかりました。
- ・ 子どもが肉体的・精神的・情緒的・道徳的そして社会的に成長発達できること、大事な観点ですね。
- ・ 就学前の子どもの教育のあり方について考えさせられた。
- ・ 保育の問題はなんとかしたい。
- ・ 保育園・幼稚園のあり方、人間づくりの一番大切な時代です。しっかり議論し国全体や各地の意見もよく聞いて制度は決めていただきたいと思いました。
- ・ 多くの資料が添付され、勉強になりました。
- ・ 子どもの問題として…だけでなく、社会の問題として複雑だと思いました。

- ・ 様々な問題提起や色々な立場の方の意見を聞くことができ考えさせられました。
- ・ 貧困の問題の原因は親個人の責任だけではなく、社会のシステムにもあるのでよく知ることが大切。

第3分科会: 税・社会保障

- ・ 大変勉強になった。 **3名**
- ・ 社会保障という分野は多いと思いますが、全ての年代の人々に手厚く保障するとなれば、確かに多額のお金が必要だと思います。消費税に頼らず、所得再分配ということで可能なことを知りませんでした。広く知らせたい
- ・ 高齢者医療制度、年金制度(社会保障)、どちらも財源問題だ。
- ・ 社会保障の考え方、しくみを改めて聞いて知らないことばかりでびっくりしました。理解するのも難しく、頭の中でしっかり整理したい。目からウロコの連続で聞けば聞くほど国民はいいように政府や官僚にだまされているとわかりやすいです。
- ・ 生きていくために必要な社会保障・税金のしくみを学び、考えさせられる1日でした。
- ・ 医療保険と介護保険の違いについて、今回の分科会によって改めて認識した。ただ、少ない年金の中から否応なしに引かれる(介護保険など)ことについては、どんなものかなという不満が残ります。
- ・ 70~74 歳が2割負担と新聞に載っていたので気になっていました。現物給付型の生活保障が年金だということなどがわかりました。
- ・ 「第2次提言」はとてもよいと思います。実現すればいいと思います。年金について色々活動があることを知った。
- ・ 制度の本質を知ることが大事。
- ・ 意外に奥が深くて難しい問題だった。先の話だと思っていたが、こうして聞いていると実際自分に非常に身近なもので、大変な制度改悪が行われていることにびっくりした。学ぶことが大事だとつくづく思った。
- ・ 早く後期高齢者医療制度をなくしてほしい。誰もが安心してかけられる医療制度に。
- ・ 現在の制度を学んで運動に生かすことの大切さ。年1回ではなく学んで交流することが大切だと思った。

第4分科会: 介護

- ・ 介護されている方の経験や保健士さんの熱意などたくさんのお話が聞いてよかった。
- ・ 身近なところで問題が起きていることがわかった。もっと自分自身努力しなければと思った。
- ・ もっともつとつながる必要(まず地域から)を感じた。
- ・ 政府はもう少し私たちの生活を見てから介護保険を決めてほしいと強く思った。
- ・ 解決への道はたくさんあると思う。
- ・ いろいろな問題を抱えているので、各々の分野から正していい方向に向かってほしい。

第5分科会: 平和

- ・ 高橋さんのお話はとても身につまされた。体験を自分の生き方にどう関わっていくのか？それを実践している高橋さんの行動に感銘を受けました。 **2名**
- ・ 戦後 65 年とはいうものの、まだまだ遺骨が放置されている状況やビアク島玉砕された様子を聞き、なんともいえない思いをした。 **2名**
- ・ 父親の遺骨収集に行った報告、高橋さんの息子さんが洞窟に入り花をたむけようとはいったがまもなく「あついあつい、背中に人がおぶさっているようだ。とてもあつい」といって出てきた。戦没者の魂が背に感じるとの話に映画で見た場面がうかんだ。戦場の悲惨さを1人1人平和について語り継いでいかなければと改めて感じた。
- ・ 遺骨収集をしたというニュースなどを時折見ましたが、あまり関心を持ってみていたとは言えませんでした。南方の島々に取り残された異国の無残な状況などを伺い、大変ショックを受けました。帰らぬ父のことを母や親族から聞いてイメージしているという参加者の声にも感動しました。
- ・ 高橋ワカ子さんの「戦争はまだ終わっていない」という言葉が心に残った。
- ・ はじめ別の分科会にと思っていたのですが、「平和」の分科会にニューギニアで遺骨収集に行かれた方のお話という

ことで参加しました。義父もゲニムというところで戦死したとの公報を受けてますが、どんなところでどんな最後だったのか日々気にかけておりました。供養の気持ちで参加し、改めて義父への思いが深まりました。今の息子の年頃で戦死した兵士の苦悩に手を合わせます。憲法9条があったら…。

- ・ ビアク島の戦いとありますが、戦うというより負けるのをわかって、絶望の中、希望もなく、つらいだけ、それが戦争なんだと思った。平和って普通に暮らしていけること。参加者の方が戦争は人をきちがいにする、絶対戦争はよくないと。もし私が当時そこに存在したらと想像すると涙が出てきます。
- ・ 体験者でしか話せない生々しいお話で戦争のみじめさ、死んだ人の無念さを感じた。
- ・ 改めて「平和があってこそ私たちの生活」だということを痛感した。
- ・ 声に出すこと、行動に移すことの大切さを再確認をした。

第6分科会:消費者問題

●消費者大会を知ったきっかけ

1. 所属団体から 84名 (生協から7、退女教1)
2. 生協のチラシ 21名
3. 新聞から 2名
4. その他 4名(知人から1、女性協1、退女教の方から聞いた1)

その他 要望・意見

- ・ 午前と午後の合間にちょっとした体操を取り入れてほしい。 2名
- ・ 安心安全で暮らせる暮らしと政治が密着していることは常々思っているのですが、新聞だけではよくわからないことが多くあるので、毎年開かれている消費者大会に参加し学習できることに期待しています。
- ・ 今回のような大会に参加して世の中の制度についていろいろ勉強したい。80代になって運動に参加できるかわからないが「聞いて知る」ことも大事だと思った。
- ・ 児童ポルノには反対だが法で規制するのは反対。表現の自由に関わる。親がしっかりした性教育をすればゆがんだ欲望はうまれない。